

01 総務部

02 開発建設部

03 財務部

04 運輸部

不正改造車を排除する運動は、「人より目立ちたい」との身勝手な目的から基準にそぐわない改造をされた自動車を一掃するとして自動車ユーザーへの啓発や街頭検査等を実施するもので、平成2年から開始されています。

運輸部においても管内でこの運動に取り組むとして、沖縄県、沖縄県警察本部、県内各市町村及び自動車関係団体等の協力を得て、ラジオのスポット放送、県や市町村の広報紙及び新聞への掲載、公共施設等でのポスターの掲示やチラシの配布を行うとともに、先島を含む県内8ヶ所において街頭検査を実施し、自動車ユーザーの不正改造に関する認識向上を図っています。

なお、不正改造の事例としては、灯火の色が限定されているブレーキランプ等の色を白くするためのクリアレンズの装着、運転席・助手席窓ガラスへの着色フィルム貼り付け、ディーゼル車の黒煙の排出を悪化させる燃料ポンプの調整等、消音器（マフラー）の切断・取り外し、タイヤ及びホイールの車体（フエンダー）外へのはみ出し、ダンブカーへのさし枠の取り付け、大型車の車検後の燃料タンクの増設、突入防止装置（リアバンパー）の切断・取り外し、前面ガラスへの装飾板の装着基準に不適合となるリアウィングの取り付けなどがあります。

特に、暴走族車両を中心に取り締まるとして実施した深夜の街頭検査（0300～2000）では、検査車両46台の中で7台について「整備命令書」を交付しております。

検査車両数	出動人員	実施回数
640台	141人	8回
整備命令書発令件数	不正改造車両数	整備不良車両数
19件	32台	121台

また、強化月間における管内での街頭検査の結果は次のとおりです。

Point

国土交通省では、去つた6月を「不正改造車を排除する運動」の強化月間と定め、「ディーゼルクリーン・キャンペーン」と連携しながら、関係省庁及び自動車関係団体等と協力してこれら運動を全国的に展開しております。

「不正改造車を排除する運動」及び「ディーゼルクリーン・キャンペーン」について



沖縄市内で実施した深夜街頭検査の様様



ディーゼル車から排出される黒煙濃度の測定の様様

